

令和8年度第1回理事会 議事録

日時 令和8年5月9日(土)10時00分

場所 北海きたえーる研修室

<進行:上総理事>

印藤智一、家近昭彦、川崎尚子、坂本雅春

石崎賢、上總向貴、太刀川建一、藤原 正

平野龍一、高橋克徳、須田正毅、藤原啓子

倉 豊彦(議事録)

1. 開会

2. 理事長あいさつ

令和8年度最初の会議である。活発な意見を願いたい。

3. 議事録署名人選出

印藤理事長の他、石崎理事、上総理事が選出。

4. 協議事項

(1) 各種会議の進行等について

現在の理事会終了後、午後執行役員会、表彰式、定時社員総会の予定。

(2) 令和7年度 事業報告(案)について

□ 管理運営本部

財務事務局運営からコンプライアンス規定に関する事、SV/Vリーグチームとの業務委託契約に関する所掌事務について、ほぼ計画通りすすめることができた。

① 総務委員会

- ・記載の通り、予定通り各種会議を実施。
- ・MRS の新システムに伴う問い合わせが増えている。

② 事業運営委員会

- ・各種会議及び SV/V リーグのホームゲームの運営を行ったとの報告があった。

□ 競技運営本部

① 競技委員会

- ・各種会議、全国大会が予定通り実施された。
- ・法人化記念ヴィンテージ交流大会を実施した。好評につき次年度も開催予定。
- ・高校3大会の全般についての検討、研修会の拡大、MRS を利用しての大会申し込みなどを実施していく方向で検討していく。

② 審判委員会

- ・各種会議は予定通り実施された。
- ・令和8年度については、基礎講座の在り方を検討して、開催地を札幌に限らない、各地区の若手発掘に貢献できるような方向で検討していく。
- ・道内大会の派遣についても、滞りなく実施された。

□ 強化普及本部

令和7年度は特に強化委員会で、JOCの大会で結果を出すことができた。また国スポについて、選抜チームを組むような、例年とは違った形でやってきた。令和8年度もさらなる発展ができるような形を考えている。

①強化委員会

- ・JOC 全国大会で男子が3位という素晴らしい結果が出た。
- ・各種事業が滞りなく終了した。
- ・国スポ成年の部を選抜形式にして2年目であり、今後どうなるか今後の動向を注視している説明があった。
- ・JOC 大会が数年後になくなることを踏まえ、中学の強化の仕方を検討する必要がある。今年はクラブチームの大会開催等を通じて、強化の活動を検討している。詳細や時期はまだ未定であるとの説明があった。

②普及委員会

- ・各種会議、講習会は予定通り行われた。
- ・「ビギナーズカップ」が各地区で好評であった。
- ・3月の「地区対抗選抜大会」が令和9年3月開催分をもって、現行の形で行うことが最後となる。新しい形として、北海道内を4ブロックに分け、その中で予選会を行うことを検討し、先月4月の会議において、全道23地区の委員長に説明し、それぞれのブロックにおいてどのように実施できるか検討している。

③指導者養成委員会

- ・各種講習会が予定通り実施された。

□ 渉外・企画担当理事

- ・PRの第1弾として「キービジュアル」というものを作り、今後このクリエイティブデザインをベースに、協会のブランディングとして発信をしていきたいとの説明があった。

(3) 令和7年度 非収益会計・収益会計・特別会計決算(案)について

- ・法人設立後初めての決算となるが、公認会計士の指導のもと、これまでの決算手法とは異なる、1年間の利益・損失を計算する法人決算の手法となる。

①非収益会計計算書類～「貸借対照表」「損益計算書」「販売費及び一般管理費内訳書」「財産目録」の内容について説明。当期の純利益金額は合計 7,344,958 円の黒字決算となった。財産目録について、旧団体から資産譲渡されたものであるが、減価償却耐用年数を過ぎているものがほとんどのため、税理士と相談の上、次年度、財産目録上の処分を行う予定。

②収益会計計算書類～「貸借対照表」「損益計算書」の内容について説明。当期純利益金額は、4,641,271 円の黒字決算となった。

③特別会計計算書類～「貸借対照表」「損益計算書」の内容について説明。当期純利益金額は、21,706,835 円となった。

これまでの A3 判で作成されていた各種事業の収支決算については、法人の会計決算としては必須のものではないため廃止した。

(質疑)

- ・印藤理事長～理事への資料として、これまで使用していた、A3の内訳の詳細が表れているものがあった方がわかりやすいのではないかと。
- ・須田監事～令和8年度についてはこの内容での提示とするが、わかりやすい作り方の工夫が必要。
- ・平野理事～今年度は法人初年度なので、来年度以降は収支について、前年度との比較、公認会計士からの票かのようなものがあつたら良いのではないかと。

(4) 令和7年度 会計監査報告について

・記載のとおり、適正に実施されことを報告。

(5) 令和8年度 一般会計補正予算(案)について

- ・各地区協会や加盟団体からいただいたご意見を踏まえ、組織基盤強化にかかる支援を行うための措置を行うものである。
- ・収入の部では、SV・Vリーグにかかる受託料とホームゲームスタッフ旅費立替戻入金を含んだ前年度繰越金が大きくなったことに加えて、JVAからの組織強化に係る交付金として、追加交付があったことによる補正である。
- ・支出の部では、当初予算編成において各地区協会や加盟団体からいただいたご意見やご要望を踏まえ、今次補正において、各地区協会及び加盟団体における組織強化を図ることを目的に、令和8年度に限り、33の加盟団体に対し10万円ずつを交付するため、交付金330万円を計上する。今後も、全体的な収支を、収支のバランスを見据えた上で、新たな枠組みや支援策を検討していきたいとの説明。

(質疑)

◇家近理事

10万円の使い道は、各加盟団体で決めて良いか？

◇印藤理事長

各加盟団体において決定して差し支えないが、財政基盤の整備に資することを前提とする。

(6) その他

特になし

5. 報告事項

□ 管理運営本部

- ① 総務委員会 ・特になし
- ② 事業運営委員会 ・特になし

□ 競技運営本部

① 競技委員会

- ・国内競技会(全国大会)が2029年度から日本協会で割り振ることになる。
- ・国民スポーツ大会について、監督のほかにあと2名登録できるようになる。ジャージは監督と違って、その2名だけそろっていれば最低限OK。
- ・MRS新システムについて、令和8年度は登録の責任者を石崎氏、坂本氏で行っているが、来年度は今までのように地区協会の担当者が処理する形にしていきたい。
- ・MRS普及について、大会の登録に利用している。今後は記録用紙の印刷等にも利用したい。
- ・「競技研修会」を続けて行っているが、その参加者を増やしていきたい。
- ・今後の「選手権大会」の出場枠について(別紙)。出場チームを増やしたい。

② 審判委員会

- ・A級審査会に3名の審判員(札幌協会上津川雅宣、武藤修平、釧路協会山本麻衣)推薦。
- ・「Vリーグレフェリーセミナー」という事業を大学の一部リーグを活用して実施している。

□ 強化普及本部

①強化委員会 ・特になし

②普及委員会

・3月の選抜大会について、来年が最終形式となる。新しい4ブロックでの実施について、4月の普及委員長会議にて、各地区協会代表と協議した。

③指導者養成委員会 ・特になし

6. その他

・倫理委員会で現在扱っている事例について、JVAの相談窓口にも通報があったため、調査結果等を共有して、処分の有無、内容について一本化する方向で検討している。

◇「新Vリーグ」について、5月24日に東京にて開催地への説明会が行われる。

7. 閉会

議事録署名人

理事長

伊藤 智一

議事録署名人

石崎 賢

議事録署名人

上總 向貴